

南丹工芸文化祭

今年で3回目を迎えた南丹工芸文化祭。地域の工芸職人、文化協会の皆さんなどの感性あふれる素晴らしい作品を多数展示。また、昨年好評だった工芸体験コーナーは、はしづくり、ストラップづくりなど4つの体験を用意し、老若男女を問わず多くの方が世界に一つだけの作品作りに熱心に取り組んでいました。来場者の皆さんには、南丹地域の工芸文化の香りを堪能いただきました。



ストーンペインティング体験 (写真⑥)、はしづくり体験 (写真⑦)、なべしぎづくり体験 (写真⑧)、授産施設などの商品販売 (写真⑨)、京都伝統工芸大学の学生の作品展示 (写真⑩)、南丹市文化協会連絡協議会の作品展示 (写真⑪)、工芸家の作品展示 (写真⑫)



第26回 国民文化祭・京都2011

ここをを整える文化発心

来年10月29日から11月6日まで、第26回国民文化祭が京都で開催されます。国民文化祭とは、全国各地から多くの「文化」や「人」が集まる国内最大の文化祭典で、日本中でいろいろな文化活動に親しんでいる個人や団体が集まって、日ごろの成果や実力を披露します。南丹地域においても「伝え合う心」をテーマにさまざまなイベントを開催します。

南丹市では、全国から応募のあった工芸作品を展示し、表彰を行う『工芸の祭典』の開催、また、地域で活動されている工芸家の工房や地域のさまざまな情報を盛り込んだ『工房と里の秋めぐり』の秋マップを作成し、南丹市に息づく地域文化を全国に発信する予定です。



▲南丹ジョイントプログラム
2009の応援に駆けつけた
国民文化祭・京都2011
PR隊長 まゆまる